

苦情、意見、要望対応 保護者への説明記録報告書

発生・受付・対応日	令和 6年 5月 17日(金曜日)
対応者	保育者
時間	PM 16時頃
場所	サラナ保育園テラスにて

相談者	園児の ()母親 ()父親 ()祖父 ()祖母 (○)その他(匿名者)
分類	()職員の対応 ()怪我・病気 ()保健衛生 ()給食 (○)園行事 ()保育について ()特別保育 ()施設設備 ()その他

(内容)

・保護者の方より「今年も、運動会はないのでしょうか？」と口頭でのお尋ねがあった。

(対応)

・行事について見直しを行ったこと、園の行事に関しての考え方を説明する。(下記に記載します)

令和5年度より子どもたちの負担軽減の為、行事の見直しを行いました。保育園の行事には、子どもたちに経験してもらいたい伝統や、保護者の方とともに成長を喜びあうことなど様々な思いがあります。行事を楽しむことはもちろんですが、行事に向かって友達と協力しあい成功するという経験も、子どもたちにとってはかけがえのないものです。行事は、大人側の「させる、みせる」活動ではなく、子ども主体の「楽しい！」「やりたい！」と思う気持ちが大切です。つまり子どもにとっては、普段の遊びの時間こそが最重要なのです。例えば子どもにとって安心できる環境のなかで、自発的、または課題的に運動や劇遊びをしていくことは確かに子どもにとって楽しく有意義なものです。それを保護者に見せるとなると話しが違います。何が違うかという、見せるということは、必然的に練習をする機会が増えていくということです。遊びの時間を奪って練習にあてるというのは、子どもにとって負担になることもあります。行事のために費やす時間や労力があるなら、普段の遊びをもっと豊かに、学び多いものにしていく方が大切だと思う方も少なくありません。

行事の前子どもたちはワクワクや緊張感で胸がはちきれそうになっています。我慢することや頑張ることが増えてくると落ち着きがなくなる子、イライラしている子も増え、トラブルも増加していくのも事実です。その子どもたちの様子をみてみると、「本来の行事目的である子ども主体の内容からずれているのではないか・・・」「無理をさせ過ぎているのでは・・・」「これまで通りのやり方を続けてよいのか」と悩むこともありました。今までは当たり前に行っていた保育も、時代とともに変化していくこと、その時の子どもたちに合わせながら活動を行うことが必要だと考えます。そこで、保護者の方のアンケート結果を参考にしながら、子ども主体の行事のあり方へ見直すことにいたしました。

★《現状》毎年、行っていた行事や保育→《今後》行事や活動はその年の子どもに合わせて変更します。(行事がなくても、子
(その後の対応)

当園より、行事に関しまして、年度初めに「今年度の行事について」コドモンにてお知らせしておりましたが、説明や周知が不十分だったこととお詫び申し上げます。

お時間あられますときに、コドモン資料室「当園の行事に対する考え方」や「年間行事」をご覧ください。(日程や内容を変更することもあります。ご了承ください)

また、コドモンにて園からお知らせする情報やおたよりは、保護者の方に知っていただきたいこと、保育に必要な持参物などがあります。園からのお知らせはご一読いただければ幸いです。また、クラス便りは、担任が気合を入れて作っています。子どもたちの日々の様子を伝えていきますので、必ず読んで頂きたいです。お母さん、お父さん、家族みなさんで読んで頂きたいです。

